

診療所たより

### 【経鼻内視鏡検査】

平成 28 年 9 月 29 日に高野山総合診療所に経鼻内視鏡が入りました。従来の内視鏡検査（胃カメラ）は口から挿入するものが一般的であり、当診療所でもこれまでは口からの内視鏡検査しか受けられませんでした。しかし、口からの内視鏡検査は、検査時の吐き気や不快感が強いとされており、実際に検査を受けてつらい思いをされた方、また検査への不安からこれまで検査を避けてきた方も多いと思われます。今回新しく受けられるようになった経鼻内視鏡検査は、スコープを鼻から挿入する内視鏡検査になりますので、喉を通るときの「オエッ」という吐き気が起こりにくく、スコープの先端部 5.8mm と従来の口からの内視鏡の半分程度と細いため、検査中のつらさが軽減され、検査中の会話も可能というメリットがあります。デメリットとしては、鼻腔の狭い人は検査ができなかったり、鼻出血を起こす可能性があることなどが挙げられますが、口からの内視鏡検査とほぼ遜色ない精度の画像が得られ、病変が見つかった場合は組織を採取することもできます。

患者様のご希望を取り入れ内視鏡の機種を選ばせていただきます。

胃や食道の病気は早期発見が大切です。胃の調子が気になる方、内視鏡検査が苦手な方はぜひご相談ください。



上が経鼻

下が従来

**高野町立高野山総合診療所 0736-56-2911**